

林いさお通信

ピカいち!!のまちづくり



No.119
平成27年1月

新春号・2014 10大ニュース

林いさお後援会



歴代町長選挙最多得票数
11,102 票を獲得

林いさお 再選!

当選報告会での万歳三唱

12月14日投開票の三芳町町長選挙は、現職の林伊佐雄が11,102票を獲得し、山田政弘氏を破り再選を果たしました。

5日間の選挙戦で林いさお候補は、自転車に乗り町中を隈なく走り回り、4年間の実績と新たなマニフェスト「みよし未来創造プラン31の宣言」を住民の皆さまに訴えました。

様々な施策の芽が出始めています。住民の皆さまとの対話を重視しながら、大きく成長させ、花を咲かせていきます。さらに、新たなマニフェストの達成にも全力で取り組んで参ります。

なお、今回の得票数は、歴代町長選挙最多得票数、最多得票数差でした。過去最多の得票数は、前回町長選初当選の林伊佐雄の8,039票、最多得票数差は、平成10年の3,058票でしたが、今回は、それらをそれぞれ上回る11,102票と5,006票でした。

12月14日投開票三芳町長選挙結果

林いさお **11,102** 票

山田まさひろ **6,069** 票

投票率 **57.69%** 投票数 **17,543**

男 **8,695**

女 **8,848**

2014 三芳町 10大ニュース

1 三富新田世界農業遺産の認定申請

7月30日(水)、三富新田の世界農業遺産の認定をめざし、農林水産省に申請書を提出しました。その後、農水省でのプレゼンテーション(9月8日)、選考委員による現地調査(9月12日)が行われましたが、残念ながら国内選考に残れませんでした。



2 余熱利用施設エコパオープン

6月17日(火)、ふじみ野市との共同による余熱利用施設「エコパ」が、ふじみ野市の駒林地区に完成、オープンしました。埼玉県内初のバーデプール(健康増進用プール)や和風風呂、ローマ風風呂のほか、大広間やレストランなども備えています。



3 自然の森・レクリエーション公園開園

4月1日(火)、緑地公園の東に隣接する民間グラウンド跡地を「自然の森・レクリエーション公園」として整備、開園しました。レクリエーションやスポーツ活動ができる多目的公園です。また、災害時には一時的な避難場所になります。



4 のぞみカー試行運転開始

9月1日(月)から11月30日(日)まで、町内の交通空白地域の解消をめざして、デマンド交通(愛称のぞみカー)の試行運転を実施しました。試行運転の検証を行い、新たな公共交通の導入を目指します。



5 マレーシア親善訪問団来町

グローバル化が進む国際社会の中で、国際感覚を持った人材を育成し、アジアの仲間との友好と国際理解を深めるために、4年間マレーシアに中学生を派遣。昨年は9月にマレーシアから訪問団が来日し、交流を深めました。



6 地域連携避難訓練を実施

10月18日、町内のすべての指定避難所(8小中学校)を開設し、役場庁舎内の災害対策本部との情報連絡体制確認などの訓練を実施。町内全域で行う避難訓練は初の試みで行政区、自主防災会、民生委員、小・中学校、消防団等の皆さんが参加されました。



7 中央公民館・学校給食センター着工

就任当時、白紙の状態でした中央公民館、学校給食センターの建て替えも、まちづくり懇談会、意見交換型世論調査など広く意見を聞きながら着工することができました。完成は27年2月の予定です。



8 第三保育所改築工事着工

第二保育所の耐震補強工事が完了。また待機児童をゼロにすべく10月14日(火)、第三保育所の改築工事に着工しました。鉄鋼造2階建て、延べ面積1,494.94㎡でみどり学園も併設しています。完成は平成27年6月の予定です。



9 スマートICフルインター化の推進

5月21日(水)、関越自動車道の「三芳スマートIC」のフルインター化と車種拡大について、26,335名分の署名を添え、国土交通大臣に要望書を提出しました。地域説明会等を開催し広く意見を聞きながら推進してまいります。



10 全中学校に空調設備を設置

町内の中学校3校にエアコンを設置しました。9月から試運転を開始、良好な学習環境が実現しました。小学校5校については、平成27年度に設置の予定です。



その他 11～20 のニュース

⑪「あいサポート運動」キックオフセレモニー開催(10月鳥取県平井知事と) ⑫高齢者にやさしいまちづくり懇談会を設置し、高齢者福祉政策を推進(9月) ⑬県内初の機能別消防団員制度発足(2月) ⑭子どもの読書活動優秀実践図書館で文部科学大臣から二度目の表彰(4月) ⑮ブックリスト「どのほんがすき」の配布(4月) ⑯広報みよしにAR(拡張現実)技術の導入(1月) ⑰全国広報コンクール(写真の部)で2年連続入選(6月) ⑱広報大使に町出身の吉澤ひとみ(モーニング娘。OG)任命(11月) ⑲交通死亡事故ゼロ800日更新(12月21日現在831日) ⑳藤久保交差点の下り車線右折が可能に(11月)



ピカイちさん



絵・長女 瑛子

これまでの歩み



自転車で町中を走り



街頭で実績や政策を訴えました



400名参加の町政報告会 10月28日



ダルマの目入れ



300名参加の決起大会 11月29日

編集後記

四書五経の一つにあげられる「易経」は、中国最古の思想哲学の書です。帝王学の書として今日では企業や組織のリーダーにも愛読されています。

その最初に龍の話が出てきます。これは一つの志を達成するまでの成長過程を龍の物語になぞらえて説いた話です。志を抱いた龍が学び、修養して力をつけていくと、やがて天に昇り、大空を翔る飛龍になります。しかし、その強大な力に驕りたかぶることで、力が衰えてくだり龍になります。

この龍の話は成長論とともに、ものごとの栄枯盛衰を説いており、人生や時代、国家、会社組織がどのように成長して、どのように衰えていくのかということを読み取ることもできます。

その成長の最初の段階が「潜龍」です。この時代は、真っ暗な淵にいて、まだ地上にも出られず、日の目を見ることができない状況にいます。苦しい境遇のなか、身を潜めるように生きています。しかし、強い志や希望というものはそういう状況下に発するものだと考えています。

「確乎としてそれ抜くべからざるは、潜龍なり」と書かれています。確乎不拔という言葉の出典です。「それ」とは志のことです。

潜龍の時代を大抵の人は嫌います。でも実は、飛龍になった時のスケールは、その深さも、厚みも潜龍の時代に大部分が決まります。易经研究家の竹村亞希子先生は、「いつも潜龍元年、今が潜龍元年」という言葉をつくり、潜龍の時代を楽しみ、初心に返ることを教えてください。

「潜龍元年」
未来の豊かな明るい三芳町の発展のために初心に返り尽力してまいります。

※公職選挙法により年賀状等年始のご挨拶は遠慮させていただきます。